

ふれあい通信



長南町長
平野 貞夫

29年がスタートしました。

今年は3月末で廃校となる4小学校と、昨年3月に県から譲渡された西部工業団地計画跡地の活用を優先課題として取り組んでまいります。

今、来年度の予算編成作業を進めていますが、4小学校の活用方法が決定するまでの間、施設管理をどのようにしたらよいか検討しています。いつでも使用できる状態にしておくには、4校で約1,100万円以上の財源が必要となります。それでも今の状態を維持できるものではありません。毎日児童が使用し、先生方、地域の方々が適切に管理していただいているから、現状があるわけであります。なぜ膨大な費用が必要かと言いますと、それぞれの施設には、電気、ガス、水道といったライフラインがあります。そのうち浄化槽や貯水槽、電気保安、消防設備といった建物を使用するための様々な設備の管理が必要となるからです。それらを一旦止めることが可能としても、それでも4校の維持管理費は

400万円を超えます。従つて活用方法が決まらなければ、施設環境が悪化するだけではなく、経費も嵩むことになるわけであります。そういう事情もあってできるだけ早い時期に活用を決めたいと思っています。

地域の活性化と町の発展に繋がるような企業、団体の誘地を考えていきます。それによつて雇用の創出が図られ、町の活気と賑わいが取り戻せれば良いと思っています。

現在、幾つかの企業から話があります。誘地するに相応しい企業、団体であるかどうかは跡地活用検討委員会のご意見を踏まえた中で、判断させていただきます。方針が決まれば議会に報告し、ご意見をいただきことになります。その後、地元住民の皆様に改めて活用方法を提案させていただき、ご意見をいたたくこととしています。

このように今年は長南町が変われるかどうかの大きな決断をしていかねばならない重要な年となるわけであります。もちろん4校一気にとくわにはいきませんが、決められるところからスピード的に進めていきたいと思つています。

町民の皆様の更なるご支援をお願い申し上げます。

SADA[◎]
No.20